



長門屋

お城の店が目印です。

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
〒990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
<http://oshironomise.com>
2019年 第28号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさすそうです。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。

金仏壇から櫛の仏壇への買い替え。仏壇が木のぬくもりを感じる明るい印象になりました。色、大きさ、シンプルなデザインがお気に入りとのことです。



この度、お宅にもともと安置されていた金仏壇から、櫛のお仏壇に買い替えをされた井上様に、買い替えのきっかけ、新しいお仏壇が納まってからの暮らしの変化などインタビューをさせていただきました。

祈りのある暮らし
お仏壇ものがたり
山辺町
井上よし子様
の巻



信仰心が厚く、家族を想う気持ちを大切にされている井上様とは、長らくのご縁をいただいております。数年前に、当店で主催した“観音巡礼ツアー”にもご参加くださったお客様です。

Q お仏壇の買い替えを考えたきっかけを教えてください。

(井上様) 実は、20年位前から考えていました。全体的に汚れていたのと、金箔が剥げていて下地が見えていたのが気になって気になって。でもタイミングがなかなか無くて。丁度年忌あたりの年なのでお願いしました。

平成の初め頃、お店に訪れて以来、ずっと仏様の事は長門屋さんにお願ひしています。当時、地域で使っていた百万遍珠数の糸が切れてしまつて修理を頼み、そこからのお付き合いなのです。

Q 新しいお仏壇が納まって、暮らしの変化はありますか？

(井上様) 気持ち安定しました。朝夕のおまいりも毎日していますよ。私は母方の祖母から、躰られました。仏事だけでなく、しきたりや常識を

教えてもらいました。私は昔のしきたりそのもの。終戦後のしきたりはずいぶん変わりましたけどね。この度新しいお仏壇を購入したし、孫達にも伝えていきたいです。

Q お仏壇の購入・買い替えを考えている方へアドバイスがあったらお願いします。

(井上様) 永く使うものですし、小さくても長門屋さんで質のいいものを求めると良いのではないのでしょうか。お店に行くと欲しくなるものがいっぱいあります。

インタビューに寄せて…

「命のつながり」に想いを馳せる暮らしを实践され、心豊かな生き方につながっている方だと思えました。また、長門屋百有余年の歴史には多くのお客様からの信頼、ご支援があり現在の私達があるのだと再認識することができました。これからも多くの方達とご縁が結ばれ、日本の大切にしたい文化を残す一役を担えればと思います。

撮影 国島



Before

切れてしまった珠数って

修理できるの？

A 修理できます！



After

珠数は大切なものだから「直せるなら、使い続けたい。」という方は多いのではないのでしょうか。

珠数が切れると『縁起が悪い』と思ってしまう、直すのをためらう方もいらっしゃるかと思いますが、「むしろ悪縁が切れて、修理することで、新しい縁(円)が結ばれるんですよ。」とお伝えしています。

「お嫁にいくときに母からプレゼントされたけど、年とともに房の色が年齢に似合わなくなってきた。」「房の色が焼けて、変わってきた。」という方も、房を交換し修理できます。房には様々な色があり、選ぶ楽しみもあります。修理には、通常一週間程度いただいております。

こちらは、特殊な仕立て直し。お寺様からのご依頼で、「親玉」「四天」と呼ばれる珠数の一部の珠を、黒檀から、ご当地の石である「月山メノウ」に交換しました。



After

Before

月山メノウ

「仕立て直し」も出来るんですよ！

あまり使わない女性物のネックレスを珠数に仕立て直して、娘さんやお孫さんへの贈り物にするお仕事もさせていただけます。

お仏壇の引き出しの中に、複数の珠数がしまわれていたりしませんか？お持ちいただければ、一緒に見て、よい珠数だけを選んで仕立て直し、あとはこちらで処分するサービスも行っており、大変好評です。

想いや思い出が詰まったものを次世代に引き継ぐお手伝いができる修理や仕立て直しのお仕事。穴の通りが悪い時など苦心することもあります。出来上がりを見てお客様が喜んでくださると心の中でガッツポーズを決め、「やったー」と叫んでしまいます。

(小瀧)

書家 6月1日(土)~2日(日)

夕深さんのじぞうもじ

のご案内。すてきな書に出会えます。どうぞ、ふるってご参加ください。



今年1月の“じぞうもじ展”の様子です。

夕深さんの講話会

「目と心で触れる心のやすらぎ」

とき：6月1日(土) 10時~11時半
ところ：gura (グラ) ラウンジホール
(長門屋の道路向かいの建物の一番奥です)
参加費¥1,000で事前予約が必要です。
長門屋(622-2204)までお申し込みください。



手書きしてもらった名前。

夕深さんのじぞうもじ展

とき：6月1日(土) 11時半~17時
6月2日(日) 10時 ~17時
ところ：ひなた蔵 (長門屋敷地奥)
内容：作品の展示販売会と手書き
入場は無料です。

夕深さんのお話を聞くと、作品だけを見ていた時とはまた違い、昔から知っていたはずの漢字が深い意味を持って心に響いてきて、文字通りに生きる知恵と力がわいてくるのです。(笹林)

会期中は夕深さんが在廊します。色紙やはがきサイズに、ご希望の文字を手書きしてもらえます。

